

阪神・淡路大震災30年シンポジウム

BE KOBE
震災30年を
未来につなぐ



「実践型」デジタルで変える！ 私たちの防災

定員
300人

参加
無料

阪神・淡路大震災から間もなく30年。私たちは今、自ら命を守る行動が取れるように「進化」しているのでしょうか。過去の大地震からの教訓を生かしつつ、デジタル技術も駆使して、防災や減災につなげるにはどうすればよいのでしょうか。国内トップレベルのデジタル防災の専門家による実践的な議論を通して、参加者の防災行動意識の変革を促すシンポジウムを開催します。

2024.12.13 金

17:30 (開場17:00)~19:50

※終了時間は多少前後する場合あり

会場 神戸朝日ホール (神戸市中央区浪花町59)

第1部 17:32~ 基調講演

『デジタル防災の可能性と方向性』

国立研究開発法人防災科学技術研究所 総合防災情報センター長
AI防災協議会/防災DX官民共創協議会 理事長

臼田 裕一郎氏



臼田 裕一郎氏

〈事例紹介:10分〉

『神戸市の防災計画に資する デジタルツインシミュレーションの社会実装の取組』

株式会社NTTドコモ経営企画部事業開発室 部長

安部 孝太郎氏

第2部 18:20~ 実践型パネルディスカッション

デジタル防災の進化ぶりを、ともに体感しませんか？

防災分野におけるデジタル技術の進歩はめざましく、これらを使いこなして、いかに減災につなげるかが重要です。この時間は、デジタル防災分野の権威である各パネリストと会場のみなさんが、



- ① 神戸市のLINEを活用した「災害情報共有システム」
- ② 「スマホ避難」シミュレーション
- ③ 「地震10秒診断」
- ④ 対話AI

を実際に操作しながら、各機能や応用方法を実際に体感できる「双方向型」「実践型」のパネルディスカッションとなっています。

デジタル技術を巧みに日常に取り入れる若い世代のみなさんにも、ぜひ参加いただきたいイベントです。



臼田 裕一郎氏

LINEヤフー株式会社 サステナビリティ推進統括本部
CSR本部 本部長

鈴木 哲也氏



鈴木 哲也氏

ファストドクター株式会社 執行役員
神戸市危機管理室レジリエンステクノロジーオフィサー

福島 直央氏



福島 直央氏

神戸市危機管理室課長(防災体制整備担当)

上月 崇生氏

NPO法人阪神淡路大震災1.17希望の灯り代表/
阪神淡路大震災1.17のつどい実行委員長

藤本 真一氏

応募方法

参加を希望される方は、二次元コードからお申し込みください。
オンライン申し込みができない方は、下記問い合わせ先にお電話ください。

● インターネット

<https://que.digital.asahi.com/epost/11015420>

朝日イーポスト



● 申し込み締め切り 12月5日(木)

※応募者多数の場合は抽選。当選者には追ってメールをお送りします。※お預かりした個人情報は、当選者へのご連絡の他、インターネット「朝日イーポスト」の応募ページに記載した「個人情報の取り扱いについて」に従って利用します。内容を確認・同意の上、ご応募ください。

【お問い合わせ】「阪神・淡路大震災30年シンポジウム」事務局 TEL06・6201・8302(平日10時~18時)

主催/神戸市 協力/朝日新聞社メディア事業本部



アクセス

- ▶ JR三ノ宮駅または阪急・阪神・地下鉄・ポートライナーの各三宮駅から徒歩約10分
- ▶ JR元町駅または阪神元町駅から徒歩約8分
- ▶ 地下鉄海岸線旧居留地・大丸前駅または三宮・花時計前駅から徒歩約5分